

10代のための本棚



てい〜んず情報誌 VOL.12



墨田区立図書館

2015年7月発行

<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>



調べる学習のすすめ

調べるためのスグレモノ！レファレンスブックやウェブサイトを使いこなして、「調べる学習」にチャレンジしてみませんか？調べるために使う本のことをレファレンスブック（参考図書）といい、辞書、百科事典、年鑑、統計などがあります。

例えば、①「火山の噴火について調べたい。」時は、『理科年表第88冊（平成27年）』（国立天文台／編 丸善出版2014）。5つにわかれた部の地学部火山のページにデータがあります。

②「世界遺産について調べたい。」時は、『世界遺産百科』（ユネスコ／著 柊風舎2014）ウェブサイトは<http://www.unesco.or.jp/isan/about/>があります。

③「葛飾北斎について調べたい。」時は、『原色 浮世絵大百科事典』第8巻には、写楽、北斎。第3巻には、様式、彫摺（ちょうずり）、版元（はんもと）について書かれています。

今回紹介した図書等は一部です。図書館に足を運んで本を選び、テーマを極めてみませんか？

SHORT STORY

魔法の扉

アスファルトに浮かぶ『逃げ水（*1）』が、歩いて歩いても、その先に進み、追いかけることができなかった。ミドリは、高校最後の夏休み、ギラギラの太陽を背に図書館へ向かっていた。行きなれた図書館であったが、その足取りは重かった。いつもなら好きな本を選んで読書を楽しむのだが、今日は、カバンに教科書とノート詰め込んだせいか、体と心が重い。

（学習室のいつもの席、空いてるかな？急がなくちゃ・・・）

ミドリは、学習室の一番奥の席がお気に入り。そこは非常扉の前で一人席だから、本の世界に入り込める。図書館に着いたミドリは3階の学習室へと階段を駆け上がり学習室を見渡すと

（あ、空いてた。よかった。勉強に集中できそう・・・）

そう、思いながら急いでその席に座った。教科書とノートを開き、勉強し始める。だが、すぐに眠くなる。好きな本と違って教科書の活字はなぜか眠くなってしまふ。ウトウトして目の前の非常扉を見ると、ゆらゆらと見え扉の枠から不思議な光が放たれていた。非常時以外開けてはいけない扉。（でも、なんだろう）と思い光る扉の前に立つ。扉の向こうから「こっちへおいで」という声が聞こえた。ミドリは、（え、誰？）と扉に耳を押しつけた。そのとたん、体が扉をすり抜けてフワッと宙に浮たかと思えば、目の前に無数の瞬く星が広がっていた。その時、天空から流れ星が落ちて来てミドリの前で光り輝き、妖精が現れた。妖精はミドリに「あなたが読んできた沢山の本は、あなたに想像する力を与えてくれました。これから、あなたの物語が始まります。その物語は、あなた自身で創造しなければなりません。そのために今日は特別な力を与えましょう！もとの世界に戻った時に、あなたの夢を叶えるために役立つでしょう！」と、言いました。ミドリが妖精に話しかけようとしたとき、ボタンという音がしてハッ！と気が付くと教科書が落ちていました。～「夢？」～END

（*1）陸上の蜃気楼の一種



今年もやります！POPコンテスト

昨年実施したPOPコンテスト、今回は募集期間も延ばし、作品も1人3点までOK！用紙は区内の中学校に通っている人には学校を通して配ります。もちろん区内の各図書館、コミュニティ会館にもあります。

POPコン応募で注意することは・・・

☆POPの面に本のタイトル、作者の名前を書く
（そうしないと何の本のことかわからない）

☆自分の名前、住所、TEL、学校名を裏面に記入
（入選等の連絡がとれません）※PNはPOP面でOK

☆自分がこの本を読んでみんなに伝えたいこと
（短くていいからね）

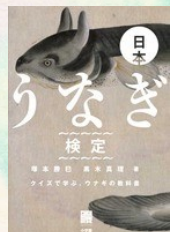
よくわからなかったら、図書館の人に聞いてね。区内の中学校に通っている人は週2回学校の図書室に図書館の人がいるのでそこで聞いてみて。みんなの応募をお待ちしています♡



少女は卒業しない

朝井 リョウ/著 集英社 2015

校舎取り壊しの決まった地方の高校、最後の卒業式。少女たちが迎える7つの「さよなら」の物語がリンクしたとき、学校にまつわる「うわさ」の真相も明らかに!?



日本うなぎ検定-クイズで学ぶ、ウナギの教科書-

塚本勝巳・黒木真理/著 小学館 2014

この時期、注目の食材・ウナギ。日本人がウナギを食べ始めたのはいつごろ? 葛飾北斎が描いたウナギの絵には間違いがある? など、ウナギのあらゆる疑問にお答えします。近年、数が減少している日本うなぎの未来についても、一緒に考えてみましょう。



ドミトリーともきんす

高野文子/著 中央公論新社 2014

“お母さん”は想像した。日本の科学の礎を築いた科学者たち、朝永 振一郎・牧野 富太郎・中谷 宇吉郎・湯川秀樹。もし我が家が学生寮で、青年時代の彼らが住んでいたとしたら…。寮は名付けて、ドミトリーともきんす…。そんな設定の漫画で描かれた、科学者たちとその著作を案内する一冊です。



みつばの郵便屋さん

小野寺 史宜/著 ポプラ社 2015

平本秋宏は、みつば郵便局の配達員。性格はいたって地味で目立たないようにしているのだが…。実は人気タレントで、顔がそっくりな年子の兄をもつ。郵便屋さんが運ぶ、小さな奇蹟の物語。



世にもふしぎな極上ワンダーランド

渋川育由/編者 河出書房新社 2015

見渡す限り真っ白で秘密工場のような図書館、外見も内部も歪んでいるショッピングモール、積み木を重ねたおもちゃみたいなホテルなど、絵にかいたような不思議な景色がいっぱいです。ページをめくるたび、幻想的な世界に引きこまれます。



自分で考える勇気 カント哲学入門

御子柴 善之/著 岩波書店 2015

自分で考えることに勇気が必要だなんて、大げさでしょうか? しかし、自分で考えることこそ、幸福への、大人への道なのです。難しいと感じるかもしれませんが、読み終えることができたのなら、あなたに“自分で考える勇気”をもたらす一冊です。挑戦してみてください!



10代からの情報キャッチボール入門

下村健一/著 岩波書店 2015

「4つのギモンと4つのジモン」で、メディアリテラシーをアップしよう! 事例をもとに、様々な視点からわかりやすい解説があります。めざせ、情報のナイスキャッチ!



希望の海へ

マイケル・モーパーゴ/著 評論社 2014

第二次世界大戦後、イギリスからオーストラリアへ戦災孤児の移民が政策として行われていた。奴隷のような扱いを受けていた大半の1人が、主人公アーサーです。アーサーの夢は、いつかイギリスへ戻り姉に会うこと。その夢は、娘のアリーに引き継がれます。今年の課題図書です。

ひきふね図書館おもてなし課

「ひきふね図書館おもてなし課」とは、図書館の魅力について深く知るとともに、人が集う図書館をめざした企画を行うなど、図書館をより楽しい場所にするために活動する中学生グループです。

3年生が卒業し、新たに9人のメンバーを迎え、18人で活動することになりました。今年度も、元気に活動していきますので、ぜひ、ご期待ください★

メンバーが選ぶ「今、一番おすすめの本」

書名	著者名
下町和菓子栗丸堂	似鳥航一
!(ビックリマーク)	二宮敦人
キノの旅	時雨沢 恵一
給食のおにいさん	遠藤彩見
図書館革命(図書館戦争シリーズ)	有川 浩
ミカグラ学園組曲	Last Note
ぼくたちと駐在さんの700日戦争	ママチャリ
緋色の研究	コナン・ドイル
空飛ぶ広報室	有川 浩
学年ビリのギャルが1年で偏差値40上げて慶應大学に現役合格した話	坪田信貴
まほろ駅前多田便利軒	三浦 しをん
青空の卵	坂木 司

暑さを忘れない あなたに...

10代の皆さんに人気のジャンル、ホラー。

ライトからヘビーまで、集めました。ご賞味あれ。

- 夜市 恒川 光太郎/著 角川書店
- 死者のための音楽 山白朝子/著 メディアファクトリー
- あかまなこ 赫眼 三津田 信三/著 光文社
- チェーンレター 青沼静也/著 角川書店
- 正三角形は存在しない 二宮敦人/著 幻冬社
- 暗黒童話 乙一/著 集英社
- ゴーストハント1 小野 不由美/著 メディアファクトリー
- 意地悪な食卓 新津 きよみ/著 角川書店
- スタンド・バイ・ミー スティーブン・キング/著 新潮社
- 夜は一緒に散歩しよう 黒史郎/著 メディアファクトリー
- 5分で読める! 怖いのはなし このミス編集部/編 宝島社